

学校だより

他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる

校長 高橋 秀吉

この言葉はカナダの精神科医であったエリック・バーンの名言とされています。みなさんもどこかで聞いたことがあるかも知れません。英語の原文ですと次のようになります。 You cannot change others or the past.

You can change yourself and the future.

実際のところ「過去に起こった出来事」は変えることができません。私自身の経験に触れます。

若いころ運転免許証を取るために合宿免許制度を利用し静岡の掛川に行きました。ところが、教習所を卒業するために行われた最終路上試験に落ちてしまいました。合格したらそのまま新幹線に乗って横浜に帰るつもりで合宿所から荷物も運んでいたのが大ショックでした。

数少ない不合格者となって、荷物を持ち、一人とぼとぼと合宿所に戻りました。

落ち込みながらも、しばらくして「この経験をどのようにしたら生かせるか」と考えこの失敗経験の意味を考えました。

そこで「今、手痛い失敗をしておくことで、運転に関して過信せず大きな事故を防ぐという意味があるのではないか」と考えるようになりました。めでたく数日後に合格でき横浜に戻ることができました。

あれから30年以上の時が経ちますが、あの悔しくつらい経験を生かしながら、無事故無違反でゴールド免許を保持し続けられています。

私たち一人ひとは弱い存在ですので、不運を嘆いたり、誰かのせいにしたりしがちです。一方で、過去のマイナスの出来事も、その意味付けをプラスに転換することで未来に生かすことができます。すべては「自分の考え方次第」です。

失敗やつらい経験は、その時は落ち込んだり苦しかったりしますが、後に「あの失敗があったから、あのつらい経験があったから」と思えることがあります。人生においては何が幸いするかわかりません。

日々の生活のすべてが貴重な経験です。自分自身をより良く変えていきましょう。

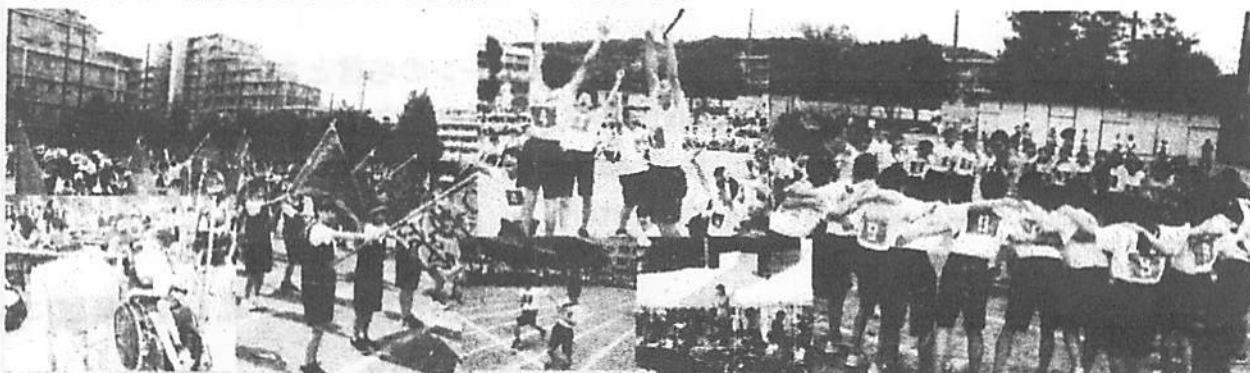


◆ 新たな台中を象徴する第71回体育祭 ◆

昨年度は、学校創立70周年を記念する体育祭でしたが、今年度は台中の新たな歴史を刻む記念すべき第71回体育祭となりました。自分の限界に挑戦する姿や一生懸命に応援する姿がとても清々しく、生き生きした躍動感と笑顔が溢れていました。

体育祭実行委員を中心に生徒が主体性を発揮し、創造性に溢れ、活気に満ちた体育祭となりました。

近隣の皆さま、地域・ご来賓の皆さま、保護者の皆さま、ご理解とご協力に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

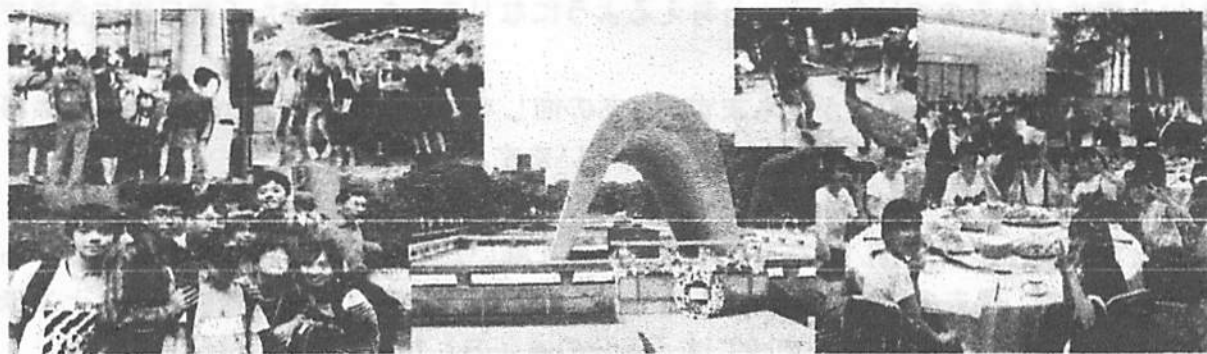


修学旅行も充実していました

6月4日(月)～6月6日(水)の2泊3日で、広島・京都・奈良に修学旅行に行ってきました。最終日の奈良ではあいにくの雨でしたが、広島での平和教育を盛り込んだ一日、タクシーで効率よくまわる事ができた京都、と充実していました。

大規模校である本校ですが、生徒のみなさんは時間とルールを適切に守り、計画通りに行うことができました。

ご協力いただきました保護者の皆さま、関係の皆さま、ありがとうございます。



—国際平和スピーチコンテストについて—

今年も国際平和スピーチコンテストの港北区大会が実施されます。

港北区の9校からそれぞれ代表生徒が集まり、その中の1名が本選会へ推薦されます。本選会で市長賞となりますとニューヨークの国連本部に横浜代表として派遣されます。本校では1年生が学校代表になりました。